

シンビオシス

滋賀近美アートスポットプロジェクト Vol.2 《Symbiosis》が始まります

～滋賀県立近代美術館が高島市で開催する若手作家展～

「アートスポットプロジェクト」とは

滋賀県立近代美術館はリニューアル整備に向けた長期休館に入っていますが、この休館の期間を利用し、県内様々な地域で美術館の活動を展開する試みを行っています。「アートスポットプロジェクト」はその一環として、滋賀県にゆかりある若手作家を中心に紹介するとともに、開催する地域の方と交流・協働を目指すプロジェクトです。長浜市・黒壁スクエアで開催した昨年度に続き、第2回目となる今回は高島市で開催します。

1. 展覧会タイトル

滋賀近美アートスポットプロジェクト Vol.2 《Symbiosis》

2. コンセプト

高島市安曇川町の泰山寺野周辺には、^{たいさんじ}太山寺と^{たいさんじ}泰山寺、2つのエリアがあります。太山寺地区は、比良山系の北限となる阿弥陀山に戦国期まで存在した太山寺を中心とした古い歴史を持つエリアです。一方、泰山寺地区は、昭和24(1949)年以降に入植者の手によって開拓された新しい歴史を持つエリアです。隣接した二つのエリアは土地と不可分な人の営みによって、その歴史と風景を築き上げてきました。

農業をなりわいとして生きる2つの地域の人々と土地の関係は、ただ互恵的な関係ではなく、共に生きていく他ない、よりシビリアな共生関係を結んでいます。中世までの泰山寺野にあった赤松の原生林と根笹の茂みは、近代の血のにじむ手作業の開墾によって広大な農地へと姿を変えました。現在は過疎化の波が押し寄せながらも、今も住み続ける方に若い世代が加わり、新たな歴史と風景が作られています。

今回は太山寺と泰山寺、2つのエリアを横断しながら、土地や人、異なった歴史、そして人と人との共生関係＝シンビオシスをテーマに、滋賀にゆかりのある3人の若手作家、石黒健一、井上唯、藤永覚耶の新作による展覧会を行います。

3. 会期

令和元年(2019年)9月21日(土)～10月20日(日) 10:00～17:00 会期中無休

4. 観覧料

無料

5. 会 場

メイン会場/田中邸長屋および周辺エリア

(滋賀県高島市安曇川町田中 4915)

サブ会場/山里暮らし工房風結いおよび周辺エリア

(滋賀県高島市安曇川町中野 795-3)

メイン会場について



メイン会場の田中邸長屋は、戦後山間部を切り開き開拓された泰山寺野の広大な農地の一角にあります。昭和24年に泰山寺開拓地に入植された田中さんが、朽木の垂炭鉋で飯場に使用されていた長屋を入植とともに移築されたもので、移築後は牛やヤギ、鶏の飼育などに利用されてきました。まさに泰山寺野の開拓の歴史の始まりから現在までを見守ってきた建物です。

6. 関連イベント

会期中には関連イベントとして、アーティストトークや作家によるワークショップ、泰山寺の地のものを使ったフードワークショップ（料理教室）を開催するほか、地域の方が開かれるイベントとも連動します。

7. 開催概要

主 催：滋賀県立近代美術館

協 力：エーゼロ株式会社、田中文志

後 援：高島市、高島市教育委員会

令和元年度 文化庁文化創造拠点形成事業

プレス説明会のご案内

会期初日に報道機関の皆様を対象とした説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。

開 催 日：9月21日（土） 11:00 集合（12:00 頃まで）

集合場所：メイン会場

内 容：担当学芸員と出展作家が会場をご案内します

8. 出展作家

石黒 健一 Kenichi ISHIGURO



《Emptiness(Light bulb)》2017

【略歴】

1986年神奈川県生まれ。2011年広島市立大学大学院博士前期課程修了（現代表現領域）。京都造形芸術大学大学院グローバルゼミ在籍中。共同アトリエ「山中 Suplex」（大津市）在籍。

【主な展覧会歴】

- 2019 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2019」（京都文化博物館別館 / 京都）
「Yesterday's Tomorrow is Today」（VBKÖ / ウィーン, オーストリア）
- 2017 ULTRA GLOBAL AWARD 2017 「新しい泉についての錬金術-作る事と作らない事-」
（ギャラリー AUBE / 京都）
- 「BankART LIFE V -観光-」（BankART Studio NYK / 神奈川）
- 2016 「TAUTOLOGY」（VOU / 京都）



《海を眺めている》2011

【略歴】

1983年愛知県生まれ。2005年愛知教育大学 教育学部 造形文化コース織専攻卒業。2007年金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科染織コース修了。現在高島市在住。

【主な展覧会歴】

2018 「PCCA International Residency Project 1 : Breathe」

(Points Center for Contemporary Art／中国)

「2018年の〈方丈記私記〉／大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」 (新潟)

「桃園産業芸術節／RE:ART 再製造—from Waste to Art」 (桃園／台湾)

2017 「奥能登国際芸術祭 2017」 (石川)

「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2017」 (象の鼻テラス、象の鼻パーク／横浜)

2016 「SOKO LABO／瀬戸内国際芸術祭 2016」 粟島 (香川)

「我們的詩／E=mc² 台日設計相對論」 (文房 VVG Chapter／台湾)



《Transit[gather]》2018 画像提供：Gallery PARC 撮影：麥生田兵吾

【略歴】

1983年滋賀県生まれ。2006年京都嵯峨芸術大学 芸術学部造形学科版画分野卒業。2008年愛知県立芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了。現在大津市在住。

【主な展覧会】

2018 「Transit」(Gallery PARC / 京都) / 「Transit」(masayoshi suzuki gallery / 愛知)

2017 「時間の感触」(masayoshi suzuki gallery / 愛知)

2016 「INTERWOVEN～編み込まれた世代～」(名古屋市民ギャラリー矢田 / 愛知)

「THE NEXT 次代を創る10人の表現者たち」(電気文化会館5Fギャラリー / 愛知)

「滋賀県次世代文化賞受賞者展」(滋賀県立近代美術館ギャラリー / 滋賀)

2013 「空即是色 - vanity is color - ARCH Vol.6 藤永覚耶」

(愛知県美術館 展示室6ほか / 愛知)

《昨年度開催概要》

シガアートスポットプロジェクト Vol.1 《散光/サーキュレーション》

会 期：平成 30（2018）年 9 月 22 日（土）～10 月 21 日（日） 29 日間

※9 月 30 日（日）は台風により臨時休館

会 場：メイン会場（長浜市大宮町 7-1 森野ビル 1F）

北国会場サテライト会場（長浜市元浜町 22-37）

主 催：滋賀県立近代美術館

協 賛：株式会社黒壁

後 援：長浜市、長浜市教育委員会

黒壁 30 周年記念協賛事業

平成 30 年度 文化庁文化芸術創造活用拠点形成事業

観覧者数実績：

展覧会名	会期	日数	観覧者数	1 日平均	1 日最高
散光/サーキュレーション	2018/9/22～10/21	29	7,723	266	1,211
（メイン会場）	2018/9/22～10/21	29	5,491	189	832
（サテライト会場）	2018/9/22～10/21	29	2,232	77	379



昨年度メイン会場 展示風景



滋賀近美アートスポットプロジェクト Vol.2

Symbiosis

シンビオシス

Kenichi Ishiguro

Yui Inoue

Kakuya Fujinaga

石黒健一 井上 唯 藤永覚耶

2019年9月21日(土) — 10月20日(日)

10:00-17:00 会期中無休・入場無料

メイン会場＝田中邸長屋および周辺エリア(滋賀県高島市安曇川町田中4915)

サブ会場＝山里暮らし交房風結いおよび周辺エリア(滋賀県高島市安曇川町中野795-3)

主催＝滋賀県立近代美術館 協力＝エーゼロ株式会社、田中文志 後援＝高島市、高島市教育委員会
令和元年度 文化庁文化創造拠点形成事業

藤永覚耶 《Transit[stone]》2018 画像提供:Gallery PARC 撮影:妻生田兵吾

THE MUSEUM OF MODERN ART, SHIGA
滋賀県立近代美術館

A&I n.c.

beyond
2020
文化庁

Symbiosis シンビオシス



高島市安曇川町の泰山寺野周辺には、^{たいさんじ}泰山寺と^{たいさん}泰山寺、2つのエリアがあります。泰山寺地区は、比良山系の北限となる阿弥陀山に戦国期まで存在した泰山寺を中心とした古い歴史を持つエリアです。一方、泰山寺地区は、昭和24(1949)年以降に入植者の手によって開拓された新しい歴史を持つエリアです。隣接した2つのエリアは土地と不可分な人の営みによって、その歴史と風景を築き上げてきました。

農業をなりわいとして生きる2つの地域の人々と土地の関係は、ただ互恵的な関係ではなく、共に生きていく他ない、よりシビオシスな共生関係を結んでいます。中世までの泰山寺野にあった赤松の原生林と根笹の茂みは、近代の血のじむ手作業の開墾によって広大な農地へと姿を変えました。現在は過疎化の波が押し寄せながらも、今も住み続ける方に若い世代が加わり、新たな歴史と風景が作られています。

今回は泰山寺と泰山寺、2つのエリアを横断しながら、土地や人、異なった歴史、そして人と人との共生関係＝シンビオシスをテーマに、滋賀にゆかりのある3人の若手作家、石黒健一、井上 唯、藤永覚耶の新作による展覧会を行います。

●滋賀近美アートスポットプロジェクトについて

滋賀県立近代美術館は、リニューアル整備に向けた長期休館に入っていますが、この休館の期間を利用し、県内様々な地域で美術館の活動を展開する試みを行っています。「アートスポットプロジェクト」はその一環として、滋賀県にゆかりのある若手作家を中心に紹介するとともに、開催する地域の方と交流・協働を目指すプロジェクトです。

関連イベント

各イベントの詳細や申し込み方法などは、滋賀県立近代美術館 HPをご覧ください。
<http://www.shiga-kinbi.jp>



〈アーティスト・トーク〉

9月21日(土) 14:00-15:30

出演＝石黒健一、井上 唯、藤永覚耶
進行＝荒井保洋(滋賀県立近代美術館学芸員)
場所＝田中邸長屋、風結い
入場無料・事前予約なし

〈ワークショップ〉

①作家ワークショップ
9月23日(月/祝) 14:00-16:00
講師＝石黒健一(出品作家)
場所＝風結い 参加無料

②フードワークショップ
講師＝たよまさこ(発酵・料理家)
10月6日(日) 11:00-13:00
場所＝たいさんじ風花の丘 参加無料

③作家ワークショップ
10月12日(土) 13:00-15:00
講師＝井上 唯(出品作家)
場所＝田中邸長屋・他 参加無料

地域の関連イベント

10月12日(土)に会場周辺でイベントが開催されます。ぜひ、展覧会と合わせてご参加ください!

①高島オーガニックマーケット
10:00-16:00
Facebook: Takashima Organic Market

②たかしま音楽室vol.2(LIVEイベント)
Facebook, Instagram: たかしま音楽室

左) 石黒健一 《Emptiness (Light bulb)》2017

中) 藤永覚耶 《Transit [gather]》2018 画像提供: Gallery PARC 撮影: 変生田兵吾 右) 井上 唯 《海を眺めている》2011

石黒健一 Kenichi Ishiguro

1986年神奈川県生まれ。2011年広島市立大学大学院博士前期課程修了(現代表現領域)。京都造形芸術大学大学院グローバルゼミ在籍中。共同アトリエ「山中Suplex」(大津市)に在籍。

- 2019 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2019」(京都文化博物館別館/京都)
「Yesterday's Tomorrow is Today」(VBKÖ/ウィーン、オーストリア)
- 2017 ULTRA GLOBAL AWARD 2017
「新しい泉についての錬金術—作る事と作らない事—」(ギャルリアUBE/京都)
- 2016 「BankART LIFE V—観光—」(BankART Studio NYK/神奈川)
「TAUTOLOGY」(VOU/京都)

井上 唯 Yui Inoue

1983年愛知県生まれ。2005年愛知教育大学 教育学部 造形文化コース織専攻卒業。2007年金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科染織コース修了。現在高島市在住。

- 2018 「PCCA International Residency Project 1: Breathe」(Points Center for Contemporary Art/中国)
「2018年の〈方丈記私記〉/大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(新潟)
「桃園産業芸術祭/RE:ART再製造—from Waste to Art」(桃園/台湾)
- 2017 「奥能登国際芸術祭2017」(石川)
「ヨコハマ・パトリエンナーレ2017」(象の鼻テラス、象の鼻パーク/横浜)
- 2016 「SOKO LABO/瀬戸内国際芸術祭2016」粟島(香川)
「我們的詩/E=mc² 台日設計相對論」(文房VVC Chapter/台湾)

藤永覚耶 Kakuya Fujinaga

1983年滋賀県生まれ。2006年京都嵯峨芸術大学 芸術学部造形学科版画分野卒業。2008年愛知県立芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了。現在大津市在住。

- 2018 「Transit」(Gallery PARC/京都)、「Transit」(masayoshi suzuki gallery/愛知)
- 2017 「時間の感触」(masayoshi suzuki gallery/愛知)
- 2016 「INTERWOVEN—編み込まれた世代—」(名古屋市民ギャラリー矢田/愛知)
「THE NEXT 次代を創る10人の表現者たち」(電気文化会館5Fギャラリー/愛知)
「滋賀県次世代文化賞受賞者展」(滋賀県立近代美術館ギャラリー/滋賀)
- 2013 「空即是色—vanity is color— ARCH Vol.6 藤永覚耶」(愛知県美術館 展示室6ほか/愛知)



アクセス

- お車の場合＝2会場の間に展覧会専用の駐車場(無料)がございますのでご利用下さい。
- 公共交通機関の場合＝JR安曇川駅よりタクシーで15分
※安曇川駅より「予約乗合タクシー」があります(およそ1時間1本。片道¥300)。泰山寺線「泰山寺」下車。メイン会場まで徒歩2分。
★要予約: 大津第一交通(TEL 0740-32-4000)

お問い合わせ

滋賀県立近代美術館
〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1
滋賀県大津合同庁舎5F
TEL 077-522-2111(平日8:30-17:15)
FAX 077-522-2188
E-mail: info@shiga-kinbi.jp
<http://www.shiga-kinbi.jp>